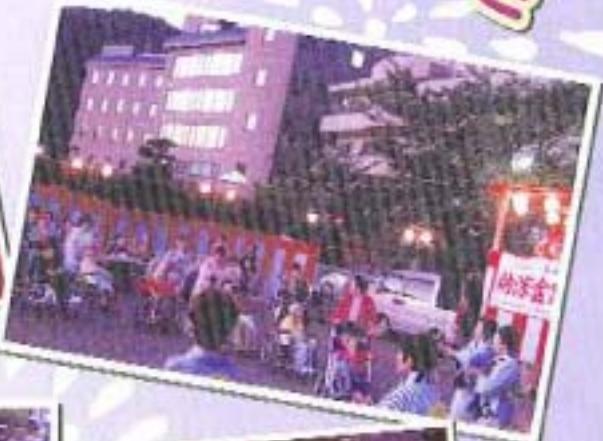


共に童心に返るひととき



8月25日（土）
納涼盆踊り大会が
盛大に行われました。

総勢300名余りの方が来場

網子 N さん

第16号
発行
社会福祉法人長寿会
京都市伏見区六尾547
TEL 077-483-7260
www.chinkokai.or.jp



さらなる飛躍を誓い
確かな歩みを
また長寿会に、つ思い出が刻まれました。当法人は、一粒の小さな種から始まり、多くの方のご理解をいただきながら成長してきました。

本々が年輪を重ねるよう、人はさまざまな出会いや体験をとおして年輪を重ねます。私たち職員が、人所・利用者と出会い、苦楽を共にした時間…。その人がその人らしく、を念頭に家族のように接してきた時間…、それは私たちに喜びを与えてくれます。喜びがやがて自信につながり、法人を大きく成長させてくれます。

年輪が表すもの…それは、そのものの歴史。当法人も1月1日を重ね、何重もの年輪ができました。手と手を取り合い、足元をみつめ、これからも、一歩一歩、着実に前進し、ふと立ち止まつた時、その年輪が力強くたくましいものであることを願います。



特
集

今日はいつもと違うご飯だよ

わいわいお腹だね。今日の昼食は何かな？

ちょっと待った。その前に…。
音楽スタート!!

※特養では、毎日、食事の前に体操をしています。食欲増進・体力維持・活気を持っていたいことを目的としています。ラジオ体操やサンサン体操など音楽に合わせて行っています。

※今回のバイキング企画には、入所者にとって食事を選ぶ、自分で楽しむことを、スタッフにとつては、同じ空間で一緒に食べたい、という思いがつまっています。

普段にはあまり見られない、入所者同士の気配りなど、新しい発見があり、嬉しい場面がたくさんありました。

現在、Oさんは、食事も「自分で食べられ、少しずつ体力も戻りつつあります。今回お話を聞かせていただき、日々のリハビリの成果と母親に対する想いというものを感じました。



「はーいみんな
体操しますよー」
と職員のKさん

「動員と一緒に
手をたくさん
Sさん

待ちに待った昼食。今日は、いつも違うご飯だよ。中華バイキングで、お好きな物をどうぞ！

今日はメニューは？
デザートは？
杏仁豆腐
チャーハン・八宝菜
カニ玉・マーボ豆腐

入居者も職員も
美味しく召べます。

特養では、家族の面会がよく見られます。
その1人、Oさんの娘さんは、毎のように面会に来られています。

入所時、Oさんは、歩行器を使用し歩かれていました。しかし、病気の進行や加齢に伴い体力が低下していく姿を見た娘さんは、お母さんにあつたりハビリを行っていました。Oさんは、平成18年に2度目の脳梗塞のため入院。退院時、ベッド上での生活が続いたため、体力低下、発語・活気がなくなり、また食べる」とが少し困難になりました。娘さんは悩んだそうです。そこで、ある先生に教わった方法と自己流のリハビリを再び行うことになりました。指・足を動かすリハビリなどを取り入れながら、親子一人三脚で日々リハビリに励まれています。今後、加齢による体力低下や脳梗塞の再発が起こるかもしれません。が、口から物を吃えることができ、体がしっかりと動くようにと思いながらリハビリに取り組まれているそうです。毎日来られるのも、心にゆとりができたから…と聞き、家族とOさんのがんばりに、私たちスタッフも微力ながら生活のなかで協力ができる環境作りに努めていけたらと思います。



“お母さん、がんばれ”～娘さんの想い～



グループホーム

六尾の郷



“地域のなかの一軒のおうち”

前回の六尾だよりで、運営推進会議についてのお知らせを掲載しましたが、今回はその内容を少し説明させていただきます。

運営推進会議とは、地域密着型サービス事業所（※）ではグループホームごとに設けられ、毎月に一回の会議を開催し、事業者がサービスの提供内容などの報告をします。会議の構成メンバーは、利用者・利用者家族・地域住民の代表者・市町村の職員・地域包括支援センターの職員などとされています。

六尾の郷でも平成18年10月より開催しています。

会議は、難しいイメージがありますが、笑いあり涙ありの一時間。会議内容はグループホームの玄関に掲示しています。



他例である法人の地域外出行事への参加。



どうですか？94才の腕前!!



運営推進会議をきっかけに、六尾地区の方とグループホーム入居者さんの交流の場が実現しました。



入居者、地域の方の文化交流。
交流が広がりより「お祭り」らいしく!!

一屏をたたいて

ー

思いました。

家庭では身近にあるご近所付き合いについて、入居者さんの今ある時間のなかに自然な形で取り入れていく方法を会議を通して、また面会時に情報・意見交換をさせていただけて少しすつ。地域に

ある一軒のおうち、であるグループホームの形を見つけていきたいと思っています。

地域交流・地域密着型と言われているなかで、入居者さんにとっての地域とは?について考えると、どこか消極的になっている私がいました。“言葉にできないほんやりとした気持ちであったと思います。例えば、他市から六尾の郷で暮らされている方や、日にうつる母色（六尾の郷）と心で思う住まい（故郷）が重なり合わないなかでグル

ープホームで過ごす入居者さんに、

私たちが地域交流の場を提供していいって良いものなのか…と不安を募らせていました。何もかも手探りで始まった運営推進会議のなかで、ハフとする言葉がありました。

一般的に施設には、まだまだ閉鎖的なイメージがある。そのなかで、六尾の郷で暮らす母が、地域人として人と関わりを持てる機会があることを嬉しく思う」と家族さんが話され、グループホームが入居者さん・家族さん・スタッフのもう一つの“家”として存在できたら…と時間を過ごしてきた思いがあるはずなのに、後ろ向きであつた自分の気持ちを恥ずかしく思いました。

家庭では身近にあるご近所付き合いについて、入居者さんの今ある時間のなかに自然な形で取り入れていく方法を会議を通して、また面会時に情報・意見交換をさせていただけて少しすつ。地域に



デイサービスセンター つばさ

夏の思い出…

最近の中学校では「総合的な学習の時間」という科目があるらしい…
7月末、夏休みにもかかわらず、西信濃中学校より

Sさん
以下SSさん
以下SHさん
以下H

あ迎え

9月6日

Q 開催者と接してみて難しかったJさんは、

A (3人声を揃えて) 興味があったからー

(S) 私のおばあちゃんが足を悪くしたのが心配かな…とか色々と心配があるので、少しは福祉を学ぶ機会と思ったから。

食事

12月7日



十代の中

お見送り

12月4日



レクリエーション

12月2日

Q 実習前のイメージと変わったことは?
A (S) 気難しい方もいるのかと思っていたけれど時代劇の話をしたとたん、熱心に語田したことから、結構気さくなんだと思った。一緒にいて楽しいと思った。

(S) 体験して、いい仕事だと思った。お年寄りが喜んでくれたらうれしい。

(H) ずっと一緒にいたわけでもない人達と一緒に仲良くなれてうれしい。

お見送り

12月4日

A (H) 緊張したけど、自然に話せねばならないって、私の話をまじめに聞いてくれたのがうれしかった。

(S) みんな笑っていて楽しもつた。

(S) 色んな仕事があるんやなあと思った。将来いろいろ仕事やいいなと思った。

食事

12月7日

十代の中

- ・メニューをやむるん
- ・うなぎ丼
- ・和風醤油わせ
- ・お豆腐の味噌汁
- ・オレンジ

最後に「また遊びに来てね」と伝えると、3人揃って「ほんまに来てもらいたい」と田を譲かせて答えてくれました。
2回間、お疲れさまでした。

六尾だより

お湯沸かしています。六尾の湯

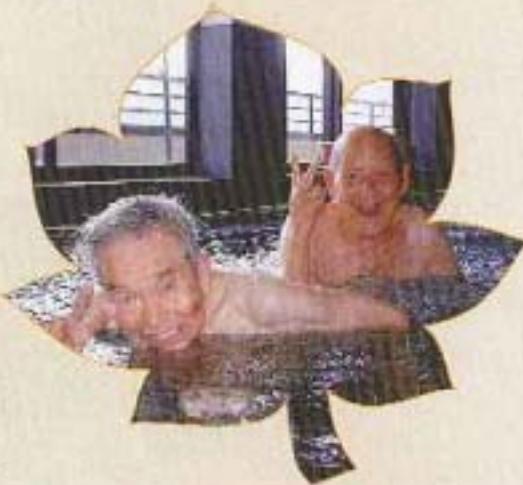


や有機物などの不純物を取り除くと共に清潔作業も働くからです。水質中の過剰ミネラルの吸着と不足ミネラルの抽出を行つたことより、ミネラルバランスを調節し、ミネラルは動植物に必要な酵素やビタミンホルモン等の成分となり生体に対影響をうけます。

「イサービスセンター六尾の郷では、未完されると最初に入浴を楽しんでいただいております。入浴というのは人が生命を維持するためにはべたり、排泄したりするのと同じくらい大切なものです。

新井田での必要不可欠な活動として位圓つけられており、お風呂に入ることによって生きがいを感じたり、毎日の生活に楽しみを感じていただけたり、それも一つの手段として田立支園につながればと思ひます。

意外と知られていないのですが、六尾の郷の入浴時のお湯についてここで発表します。



当施設のお湯を入浴後には必ずとみネラルが溶出され、人間の体内にとみネラルが溶出し水に変わります。それは、ろ過に玄武石を使用しており、玄武石の吸着作用により栄養

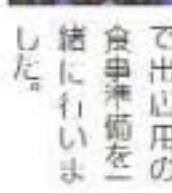


ハッピーバースデイ

7月18日 Tさん
誕生日を迎えられました。

▲81歳をお祝いされた Tさん

Tさんより「ここは近所に大きなスーパーがあるんですね。今度また来たいから、一緒に行こうね。」との声がありました。



★ いよいよ納涼祭開始 ★
余興へ行くと「喜ぶわ」と一丁
しかしみなさんと和圓の笑みで元に
つかれました。



▲結婚式の参列者さん
大田さんとおめでたさん

家族の方と食べる御飯はひと味ちがうのが、懐かしい。兄ちゃんやウロウロせんと早く食べや、とみんなで楽しめた。ゲーム大会★ つりゲーム・輪なげでは小さな子供たちに大人気!! 「もう一回」と何度も参加し、すみだり和田君の方々とスタッフと一緒にで出山田の食事準備を一緒に行いました。

スマスターしてきました。「今までまた輪なげやらしてや」と約束をかわし、納涼祭は席をとりました。

家族交流 納涼祭

グループホーム いすみ

家族の方と食べる御飯はひと味ちがうのが、懐かしい。兄ちゃんやウロウロせんと早く食べや、とみんなで楽しめた。

ゲーム大会★ つりゲーム・輪なげでは小さな子供たちに大人気!! 「もう一回」と何度も参加し、すみだり和田君の方々とスタッフと一緒にで出山田の食事準備を一緒に行いました。

スマスターしてきました。「今までまた輪なげやらしてや」と約束をかわし、納涼祭は席をとりました。



ケアハウス

GO! GO!

午後のひとコマ



ケアハウスでは、7月より余暇の時間を利用して、レクリエーションを行っていきます。

閉じこもりの解消、体調の把握、入所者同士の交流などいろいろな目的はあるものの、とにかく楽しく笑って過ごしていました。

始めたにあたり、少し不安を抱えていたスタッフでしたが、各お部屋へ呼び掛けに行くと、不安は一変。「この時を待つてました!!」と言わんばかりにたく参加いただいたあとは、入所者の方が

歌って笑って心身共にリフレッシュ!! 笑いありトしてい

たとき、「次は何歌う?」「早く『れ歌ねうよ』終わらしてみれば、スタッフが声を枯らしてしまった勢でした。それからというのも、今度は入所者の



ます。

六尾の郷に勤め6年半になります。今までの普通食とは違い、特養は普通・きざみ・ミキサー食と分かれているので毎日が勉強でした。

3年くらい前に、上司に「われた言葉が忘れられません。

「特養の入居者は、自分でいろんなことを言えない方が多いので、厨房の人たちが気を配り、作って下さい。お願いします。」の言葉を、今では、頭の中に刻みこんで毎日仕事に励んでいます。

料理を作るのが好きな私。調理の仕事を始めたのは11年前でした。家庭料理とは違い、大量に作る、そして時間にかぎりがあるので、最初は、毎日が勉強でした。印象に残っているのは、仕事を始めて一週間ほど前に出勤すると、「高野豆腐を10人分煮てト下さい」と言われ、必死に作ったのを覚えています。

J

〈特養厨房〉



料理を作るのが好きな私。調理の仕事を始めたのは11年前でした。家庭料理とは違い、大量に作る、そして時間にかぎりがあるので、最初は、毎日が勉強でした。

この仕事に就いて思い出に残るエピソード

連載

厨房編



〈ケアハウス厨房〉



今までに心に残る内容は、平成15年度の薙庭及び川沿いでカレー、サラダ、デザートを入所者の方と、一緒にから料理を作り上げたレクリエーションです。

日頃は、自分たちがお料理を作らせていただいているが、この日だけは、入所者の方の器用さを、いろいろな角度から見させていただき、凄く人生での勉強になりました。

そして、全ての料理が完成して、総に輪になり、この日の、この時間でしか味わえない最高のカレーライス、サラダ、デザートを食べました。食後の片付けも入所者の方と一緒にを行い、大変心に残った内容でした。

地域包括支援センター



<プロフィール>

昭和9年
教師として誕生
昭和25年
見習い甲板員として船へ
昭和51年
船長に昇進
昭和55年12月30日～56年1月1日
大型船尾泊丸運送救助の指揮し
犠牲者を出すこと無く救出!!
昭和63年
船を引り、ドックマスターとして働く
現在、田川町老人クラブ会員

「船の二角波」との遭遇
昭和56年の暮れ、Oさんのが船員として航行していた。だんだんと船は、南米から鹿島港を目指していた。当時、海難事故が相次ぎ、「低気圧の蒸発」と恐れられていた野島崎沖は、冬になるとビーチで死ぬとする謡の「二角波」が襲う。

SOS受信

「船の油断もできない状態にあった。だんだんと船は、南米から鹿島港を目指していた。当時、海難事故が相次ぎ、「低気圧の蒸発」と恐れられていた野島崎沖は、冬になるとビーチで死ぬとする謡の「二角波」が襲う。

さんと包括支援センター職員とはリフレッシュ教室や他の事業において4年來のお付き合い。最近になり、Oさんの元祖が貨物船の船長でありテレビにも紹介されるほど功績ある方だと知りビックリ。そんな、Oさんのお絶な戦いを紹介します。

鹿の二角波との遭遇

昭和56年の暮れ、Oさんが船員として航行していた。だんだんと船は、南米から鹿島港を目指していた。当時、海難事故が相次ぎ、「低気圧の蒸発」と恐れられていた野島崎沖は、冬になるとビーチで死ぬとする謡の「二角波」が襲う。

「船の油断もできない状態にあった。だんだんと船は、南米から鹿島港を目指していた。当時、海難事故が相次ぎ、「低気圧の蒸発」と恐れられていた野島崎沖は、冬になるとビーチで死ぬとする謡の「二角波」が襲う。

「船の油断もできない状態にあった。だんだんと船は、南米から鹿島港を目指していた。当時、海難事故が相次ぎ、「低気圧の蒸発」と恐れられていた野島崎沖は、冬になるとビーチで死ぬとする謡の「二角波」が襲う。

「船の油断もできない状態にあった。だんだんと船は、南米から鹿島港を目指していた。当時、海難事故が相次ぎ、「低気圧の蒸発」と恐れられていた野島崎沖は、冬になるとビーチで死ぬとする謡の「二角波」が襲う。

「船の油断もできない状態にあった。だんだんと船は、南米から鹿島港を目指していた。当時、海難事故が相次ぎ、「低気圧の蒸発」と恐れられていた野島崎沖は、冬になるとビーチで死ぬとする謡の「二角波」が襲う。

「1人の犠牲者も出したくない」

すこじ地域を発見!



K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

K

頑張れ！新人諸君！！

「（手のひら）バーの介護」
をモットーに、
あたたかく健しく
利用者へ居者さんを
笑顔で支えていきたいです。

日々を振り返ることを
しながら、自分のできる
「今」を真っすぐに、
発見したい。そして
「平尾さん平尾さん」と
喜んでくれるような、
存在になりたいです。

日々を振り返ることを
しながら、自分のできる
「今」を真っすぐに、
発見したい。そして
「平尾さん平尾さん」と
喜んでくれるような、
存在になりたいです。

今春より特別養護老人ホームに
フレッシュな6名が入社しました。
6名の“今”的声をお届けします！

小さなことから
コツコツと一
一つ丁寧な仕事が
出来るよう
頑張りたいです。

新人の人、どんな時も
支え合い力を合わせて
頑張っていきたいです。

「（手のひら）バーの介護」
をモットーに、
あたたかく健しく
利用者へ居者さんを
笑顔で支えていきたいです。



掲示板

皆様の生の声をお寄せ下さい！

この「六尾だより」への皆様の記事を募集します。家庭同士の情報交換や、介護の体験記などなど、感想もお聞かせ下さい。

〒590-0515 泉南市信達六尾547番地
TEL.(072)-483-7260
FAX.(072)-483-7261



ちょっと一息の空間に、
ご利用下さい。

気軽に集える場があれば…の声
から始まり、砂川地区福祉委員会
のメンバーさんとの協力により、
当法人2階、地域交流スペース前
ラウンジを喫茶店として活用する
ことになりました。



N



H



I

編 集 後 記

「第16号六尾だより」楽しんでいただけましたでしょうか？
今回は、あと2ヶ月で今年も終わる…ということで過去メンバーに
「ズバリ！今年中にやっておきたいこと」をインタビューしました。

今年中にやっておきたいこと！



上手くなりたい



フルマラソン出走



K



K